

非常用電源に活用装置



「ザ・カハラ・ホテル&リゾート」のラウンジ(イメージ)

横浜市では高級ホテルの建設が相次いでいる。ベイコート倶楽部、ザ・カハラ・ホテル&リゾート(2020年開業予定)、パシフィコ横浜、オークウッド(2020年開業予定)、ハイアットリージェンシー(19年開業予定)。

みなとみらいに高級ホテル2軒

リゾートトラスト

横浜市の臨海エリアで高級ホテルの建設計画が相次いでいる。リゾートトラストは16日、2020年夏をめどにみなとみらい(MM)21地区に2つの高級ホテルを建設すると発表した。臨海エリアではハイアットリージェンシーやオークウッドなども開業を予定している。これまで横浜市の課題とされてきた観光客の宿泊施設の整備が進んできた。

ベイコート倶楽部とカハラ・ホテル

20年夏市の整備事業の一環

リゾートトラストが建てるホテルは「ザ・カハラ・ホテル&リゾート」「横浜ベイコート倶楽部 ホテル&スパリゾート」の2つで、いずれもMM21地区の国際展示場、パシフィコ横浜に隣接する立地だ。横浜市が横浜経済の活性化を目指して主導する「みなとみらい21中央地区20街区MIC E施設整備事業」の一環となる。全体の投資額は458億円を見込む。

カハラ・ホテルは米ハワイに次ぐ2カ所目。国際会議の出席者など海外の要人や、富裕層の宿泊を見込んでいる。地上14階建てで、客室数は146室。客室面積は約50〜120平方メートルで、宿泊料金は1泊数十万円程度を想定している。イタリア料理や日本料理などのレストランのほか、マッサージなどが受けられるス

パや、室内プールなども併設する。会員制のベイコート倶楽部は東京、菅屋(兵庫)などに続く4カ所目で、主に国内富裕層の利便を見込んでいる。客室数は138室で、客室面積は50〜135平方メートル。リゾートトラストの伊藤勝康社長は同日「横浜

市はリゾート都市として大きなポテンシャルがあり、インバウンド(訪日外国人旅行者)需要を取り込める」と狙いを明かした。19年には不動産会社のケン・コーポレーション(東京・港)が「ハイアットリージェンシー横浜を山下町に開業する。

20年には米オークウッドも馬車道駅近くに高級ホテルを開く予定だ。19年春ごろには横浜市と民間8社が連携し、MM21地区の新港ふ頭にホテルや商業施設などからなる客船ターミナルを新設する。高級ホテルが横浜市内に続々と進出するのはインバウンドの受け入れ体制が整っていないためだ。横浜市によると16年内主要ホテルの稼働率は86%で、一般的に予約

が取りにくいとされる80%を超えている。同市の林文字市長も4日の記者会見で「横浜市は受け入れ宿泊施設が十分でなく、結果として日帰り観光が多くなってしまっている」と危機感を示した。19年にはラグビーW杯、20年には東京五輪・パラリンピックなどの大規模イベントが控える。こうしたタイミングでインバウンド需要を取り込めるかが、今後の注目点になりそうだ。

出産祝いグッズの無料贈呈 来年度から鶴見区でも



子育て世代の情報交換事業を手がけるNPO法人「こまちぼうず(横浜市)」は子どもが生まれた家庭に無料で出産祝いグッズを贈る「ウェルカムベビープロジェクト」の対象を拡大する。これまで横浜市戸塚区限定だったが、2018年度からは鶴見区でももらえるようにする。

NPO法人が対象を拡大

時間利用券など、こまちぼうずが子育て需要を聞き取ったうえで内容を決めてい